



HPインクジェット インクカートリッジ、プリントヘッドの保証
(HP178)

Last Updated 2008/10/1

HPの「プリントカートリッジ」、「インクカートリッジ」および「プリントヘッド」の各製品（以後、「HPインク製品」と総称略記の場合あり）に関する保証の条件を説明します。

□ 対象製品一覧

ここに説明する保証の条件は以下の製品を対象とします。また、この保証条件は、従来の当該インク製品の保証条件に代わるものです。

➤ インクカートリッジ

- HP178、(CB316H、CB317H、CB318H、CB319H、CB320H、CB321H、CB322H、CB323H、CB324H、CB325H)

➤ プrintヘッド

- 上記HP178インクカートリッジを使用するプリンター用の交換用プリントヘッド部品

□ 保証の範囲

ヒューレット・パッカード社は保証期間内において、上記対象製品に対し、材質上および製造上の不具合の無いことを保証いたします。この保証は、上記対象製品ごとに指定されたヒューレット・パッカード社のプリンター装置にて正常に使用した際に生じた不具合にのみ適用できます。プリンター装置のマニュアルやユーザズガイド等をご覧になり、適切なHPインク製品を選択してください。

□ 対象製品の保証条件

➤ インクカートリッジ

以下の条件を全て満たすインクカートリッジが保証の対象となります。

- インクカートリッジが空ではないこと。
プリンターにHPインクが空であることを表示されたインクカートリッジは保証の対象外となります。
- インクカートリッジに記載されている「保証期限」を経過していないこと。
「保証期限」は上記対象製品に記載されています。記載場所については後述の図をご参照ください。

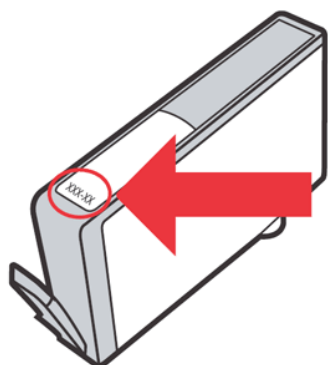
➤ プリントヘッド（プリンター本体に同梱されているもの）

プリンターの購入日から 1 年間で保証期限となります。保証期限内のプリントヘッドが保証の対象となります。

➤ プリントヘッド（交換したもの）

プリントヘッドを交換した時点から90日間、またはプリンター本体の保証期限のどちらか長い方までが保証期限となります。保証期限内のプリントヘッドが保証の対象となります。

□ インクカートリッジの保証期限の表記位置と読み方



インクカートリッジ本体の矢印の位置に、保証期限を「YYYY/MM」の書式で表記します。保証期限は記載されている月の末日までとなります。

YYYY=西暦年、MM=月

例) 2009/11=2009年11月

この例の保証期限は2009年11月末日となります。

□ 保証の適用

保証期間中、上記対象製品に不具合が認められ、当社の保証の適用対象となる場合には製品を交換いたします。

この場合、保証期限までにHPカスタマ・ケア・センターにご連絡をいただくか、お買い上げ先にご相談ください。なお、当社で交換させていただくことになった場合、弊社翌営業日以降の発送となります。

□ 保証が適用されない場合

本保証は、上記対象製品を正常に使用した際に生じた不具合にのみ適用できます。以下の原因による不具合には適用できません。

- 弊社所定の使い方（マニュアル、ユーザーズガイドの記載等）に反する場合
- 適切に保管されなかった場合（保管環境、取り扱い等）
- インクが空になった場合
- インクの詰替えや、改造をした場合



□ HPインク製品使用上のお願いと注意点

【取り扱い】

- HPインク製品には、振動や衝撃を与えないでください。
- 金属部分には、手を触れないでください。
- インクを誤って飲み込んだり、目に入れたりしないようにしてください。お子様の手の届かない所に保管してください。万が一インクを飲み込んだ場合には、至急医師にご相談ください。

【保管】

- HPインク製品はプリンターに装着するまで包装を開封せずに、直射日光をさけ、常温にて保管してください。

【印字環境】

- 最良の印字品質を得るためには温度15～30℃、湿度40～70%の環境でご使用ください。
- 直射日光の当たる場所や空調の吹き出し口近くでのご使用は適していません。

【使用】

- HP インク製品の外箱には取付期限、または保証期限が記載されています。インク製品の使用は取付期限までに、または保証期限の6ヶ月前までに開始することをお勧めします。
- 良質な印刷品質を得るためには、使用開始後6ヶ月以内にインクを使いきることをお勧めします。

□ その他、責任限定など

- ここに記載された情報は予告なく変更する場合があります。
- 本保証に関し特に記載されている責務を除き、当社は、契約、不法行為、その他の法律的根拠の如何を問わず、損害発生の可能性について告知された場合であっても、直接的、間接的、特殊的、偶発的、あるいは結果的な損害(損失利益も含む)に対して責任を負いかねます。